

令和3年 太田市教育委員会7月定例会会議録

開会年月日	令和3年7月6日(火曜日) 午後2時		
閉会年月日	令和3年7月6日(火曜日) 午後2時25分		
開会場所	尾島庁舎 3階 教育委員会室		
	議 案 (件 名)	結 果	
議案第31号	太田市社会人権教育推進協議会委員の委嘱について	可決	
出席者	恩 田 由 之 (教育長) 池 田 光 男 (教育長職務代理者) 佐 藤 真太郎 (委員) 野 村 路 子 (委員) 倉 嶋 慶 秀 (委員)	欠席委員	
	教育部長、管理担当副部長、指導担当副部長、教育総務課長、学校施設管理課長、学校施設管理課主幹、文化財課長、青少年課長、学校教育課長、市立太田高校事務長、教育総務課総務係長 市民生活部副部長兼生涯学習課長、(文化スポーツ部スポーツ担当副部長、文化スポーツ部文化芸術担当副部長、文化スポーツ総務課長、スポーツ振興課長、スポーツアカデミー担当課長、スポーツ施設管理課長、文化課長、学習文化課長、美術館・図書館長、芸術学校担当課長、福祉こども部副部長、こども課長) () は欠席者	書記・記録	田又係長代理
議 題 及 び 議 事 の 大 要			
会議録署名委員の指名	野 村 路 子 委 員		
	佐 藤 真太郎 委 員		

大関係長：

皆様、こんにちは。本日は、令和3年 教育委員会7月定例会となります。
本日傍聴者はありません。それでは教育長、進行をお願いいたします。

議長（教育長）：

令和3年7月太田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 会議録署名委員は、野村委員、佐藤委員をお願いいたします。

次に、日程第3 教育長報告を申し上げます。

まず1点目ですが、市の職員の皆様には新型コロナウイルスワクチン接種希望者への電話連絡対応について、日常業務に加えて対応してもらい感謝をしております。ぜひねぎらいの言葉をかけていただきたいと思います。

また、警戒度2にはなっているのですが、学校現場ではまだまだ保護者の方が陽性者になる事例が発生しております。そんな中ですが、中学校の夏の大会が始まり、子どもたちは夢に向かって頑張っています。そういった子どもたちの夢をストップさせないように、これからも「警戒度2」であっても、市民や子どもたちのために感染対策をよろしくお願いします。

それでは、続きまして、教育部長から報告をお願いします。

教育部長：

お世話になります。学校では一学期も終盤を迎えております。GIGAスクールの関係になりますが、タブレット端末の学校での授業の準備が整ってまいりまして、少しずつ端末に慣れるところから活用を始めているところであります。また、4月に、端末の家庭への持ち帰りに向けた、家庭での通信環境の整備のお願いをさせていただきました。そして6月に、実際の整備状況につきまして家庭にアンケート調査を行いましたところ、9割以上のご家庭におきまして整備がされているということが分かりました。この結果を受けまして、当初我々が計画していたとおりでありますけれど、夏休みから端末を持ち帰っていただくというふうに、今、全校で予定をしているところであります。なお、一部の家庭でありますけれども、通信環境が整っていないということもございますので、そういった場合におきましては、夏休み中においても学校で課題などのダウンロードができるということを通知しまして、一定の利用ができるように配慮してまいりたいというふうに考えております。

また、6月14日から29日まで市議会の6月定例会が行われました。この中で、19人の議員から一般質問がございましたけれども、その中の13人が教育委員会への質問でございました。主なものをお話ししますと、着衣泳の実施を推進したいという趣旨での質問、市立太田中学校での給食実施を求める質問、経済的困窮家庭の女子児童・生徒への生理用品配布の継続実施を求める質問、太田市奨学金貸与の際の条件緩和を求める質問、ヤングケアラー支援についての質問、学校教育における性的少数者の人権保障に関する質問、学校や教育委員会事務局職員のハラスメント対策についての質問などでございました。議員からの質問の趣旨をとらえまして、今後も教育行

政の推進を図ってまいりたいというふうに考えております。また、今年度に入りまして児童・生徒並びに教職員の交通事故がやや増えております。各学校に一層の注意喚起をお願いするとともに、過日の千葉県八街市での下校中の児童・生徒の事故もございましたので、スクールバスの運転手の運行前の健康管理など、改めて徹底するように通知をしたところでもあります。夏休みも近づいてまいりましたので、児童・生徒の安全・安心の確保に一層努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

議長（教育長）：

ありがとうございました。

次に、日程第4 議事に入ります。本日は、協議案件が1件、事務報告が2件ございます。

それでは、議案第31号「太田市社会人権教育推進協議会委員の委嘱について」、生涯学習課長から説明願います。

生涯学習課長：

「太田市社会人権教育推進協議会委員の委嘱について」 【提案理由説明】

議長（教育長）：

只今の説明につきまして、ご質疑等はございませんか。

議長（教育長）：

ご意見等はないようですので、原案のとおり承認ということでお願いいたします。続いて、日程第5 事務報告を取り扱います。

はじめに、「令和3年度太田市サイエンスアカデミーの開催について」青少年課長、報告願います。

青少年課長：

「令和3年度太田市サイエンスアカデミーの開催について」 【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。

野村委員：

対象が、小学校5・6年生ということなのですからけれども、5年生の時に応募して抽選で当たり、また6年生でも、という方もなかにはいらっしゃるのでしょうか。

青少年課長：

（今年も応募者が定員を超えて抽選となったが、その場合は初受講者優先での抽選

となるため) 1回受講した方は、2回は受講できない、一人1回までということになっております。

野村委員：

わかりました。ありがとうございます。

佐藤委員：

5ページの表の見方を教えていただきたいのですが、「A B組1回」、「A組2回」となっている、こちらの「回」というのは何を表していますか。

青少年課長：

1回目、2回目、3回目、ということでA組が合計で7回、B組が合計で7回となります。例えば、最初の講座ですと、コロナの状況によるのですけれども、工場見学であればA組とB組が一緒にできるので、A B組1回目ということで、記載しております。

佐藤委員：

わかりました。つまりこれは、第1回、第2回ということを表しているのですね。

青少年課長：

はいそうです。

佐藤委員：

それで、A B組が同時に行われるときは、感染防止対策を十分図って、人数が一定の面積の中で飽和しないように、という配慮はされているわけですね。

青少年課長：

はい。部屋の広さがありますので、それぞれおよそ2メートルのソーシャルディスタンスを保てるようにということで、そうするとどうしても15名が妥当かなというところなんです。あと、机を1列ぐらい増やしても、という話も出たのですが、安全を取って、去年と同じようなかたちで1クラス15名定員(2クラスで合計30名)ということにいたしました。

また、A B組一緒にやる工場見学とぐんま天文台の講座も、コロナ対策として密にならないように配慮しております。工場見学は、全員いっぺんにではなくて、A組とB組の時間をずらして行うことを考えています。

佐藤委員：

わかりました。これは、実施される2週間前からの体温や体調の調査シートを提出してもらおうとか、あとは実施2週間後までのものを提出してもらおうとか、そういった

対策はされているのですか。

青少年課長：

当日、熱がある方は参加を控えていただくことしておりますが、前2週間というのは、特に求めておりません。それと、終わってから2週間までの間に発熱があった場合には連絡をしてください、というかたちでお願いをしております。

佐藤委員：

はい、わかりました。ありがとうございます。

議長（教育長）：

他によろしいでしょうか。

倉嶋委員：

地域の企業の協力をいただいているということですが、具体的にはどういった企業さんにご協力をお願いしているのでしょうか。

青少年課長：

5ページの予定表があるのですが、群桐エコロさんといって低濃度のPCBですとか、廃油の処理をしている工場がありまして、そちらを見学させていただきます。

あと、サンノーバ株式会社さんというところがあるのですが、薬を作っている会社となりまして、粉を固める実験をしてくれます。今回は以上の2企業に協力させていただきます。

倉嶋委員：

協力していただける、サイエンスにかかわる企業さんというのは、太田市にどのくらいあるのですか。

青少年課長：

いろいろな企業さんがあると思うのですが、サイエンスアカデミーの7講座では、ここ数年は、こちらの2企業に協力を依頼しております。

倉嶋委員：

わかりました。

議長（教育長）：

他によろしいでしょうか。

ご意見等はないようですので、次の報告事項「令和3年度太田市立太田高等学校部活動成績について」、市立太田高校事務長、報告願います。

市立太田高校事務長：

「令和3年度太田市立太田高等学校部活動成績について」 【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。

佐藤委員：

素晴らしい競技成績だと思います。市立太田高校は、市が管轄する、ある意味戦略的な高校であると私は認識しているのですが、今見てみると、女子の活躍が目立っている、それが一つの特色なのかなと思います。今後、市立太田高校の戦略的な強化方針というか、来年・再来年・その次、どういうふうに強化して行って、この高校から国体選手をどうやって輩出して県に貢献するのかとか、そういう戦略的な見通しというのは何かありますか。

市立太田高校事務長：

基本的には、高校の男女比、商業科があるというのもありまして、男子と女子の比が2対3ぐらいで女子の方が多いい学校となっております。やはり、伝統ある女子ソフトボール部は昔から強いチームでありますし、そういった強い部活動の顧問の先生は、やはり実績のある方をお願いしたい、先生は県職の方に市立太田高校に来ていただいているわけですが、県の方に優秀な先生に来ていただくよう、人事の面で協力をしていただけるように、校長先生方と確認していきたいと考えております。

佐藤委員：

わかりました。私のただの妄想、希望なのですが、市立高校ということで、いろんなところに自由がきく部分、きかない部分があるかと思いますが、可能なら市立船橋高校に比肩するような、スポーツの代表的な全日本クラスの高校を作れたらすごいなと思っています。それは多分誰かが妄想して行動に移さなければ、絶対に起こりえないことだと思うのです。私も現在、大東文化大学で短距離を教えていまして、そこでリレーで日本一を取ったのですが、大東文化は駅伝が強かったので、リレーの日本一というのは誰も予想していなかったのですが、リレーの日本一を10年前に妄想した結果、実現したのです。それに10年間ずっと費やしたというのがあるのですが、市立船橋に比肩するまでに、費やしたら多分10年かかると思うのです。だから、どこかをスタートにして何かを始めないと、そこまでのレベルにはならないというか、全国での優勝チームを出すのは不可能で、ただ、もしもそういうことができる土壌があるのでしたら、少しずつ都合をつけて作っていくのはどうかと、考えています。太田市はせっかくBリーグ（プロバスケットボール）のクレインサンダーズの本拠地が移転して来るとかいろいろありますし、そういう全日本クラスの高校があれば、群馬県以外からも熊谷の地区や足利の方など、遠くからでも来たいという子が、多分

たくさん集まると思うのです。前橋育英まで行くのはちょっと大変なのだけれど、ここなら、というような。そういうようなことが考えられたらいいかなというふうに、以前から思っていて、それを発案するのは、ここ（教育委員会）以外にないのかなというのもありまして、私見を述べさせていただいたのですけれど。そのようなことは、現実的に動いていくことは可能なのですか。もちろん商業科ということも大事にして、少しずつ計画を練って、力のある部活を増やしていくということは可能なのでしょうか。全くわからないので、聞いているのですけれども。

市立太田高校事務長：

（リレーの日本一を実現するのに）10年かかったというお話もありますし、短期的には市立船橋に並ぶ高校というのは、なかなか難しいという現状もあるかと思いますが、B1で活躍するバスケットボールチーム「クレインサンダーズ」の本拠地が太田市となったということで、今、その事務局と協議を重ねまして、連携して何か事業ができないかということで、校長先生をはじめとして考えているところであります。女子バスケット部と男子バスケット部がありますので、コラボレーションして、できることならご指導いただいて、全国的に実績が残せるようにしていければ良いかなと思っています。また、強い学校の現状や、先進校の研究も重ねていければと思っています。よろしくお願ひします。

佐藤委員：

もしスタッフなどが必要でしたら、陸上競技の関係でしたら引っ張ってきます。

議長（教育長）：

ありがとうございます。

他に、ご意見等ございますか。ないようですので、以上で事務報告を終了します。事務局から連絡はありますか。

大関係長：

事務局からご連絡申し上げます。

教育委員会8月定例会を8月4日 水曜日、午後2時から、尾島庁舎、教育委員会室で開催予定です。よろしくお願ひいたします。以上です。

議長（教育長）：

以上をもちまして、本日の議事を全て終了し、7月定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。